

平成23年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	薬剤開発を視野に入れた膜輸送体の構造研究
研究代表者	豊島 近
審査の所見	<p>応募者はこれまでにカルシウム膜輸送体（ポンプ）の構造解析で国際的に認められる高い業績を挙げてきた。本研究では、この輸送体がカルシウムを運ぶ際の全過程をカバーする反応中間体の構造決定を目指し、能動輸送の全容を原子レベルで明らかにしようとしている。さらに、重要性がよく認識されているナトリウム-カリウムポンプや、病原微生物のもつイオンポンプの構造決定も視野に入れており、意欲的提案となっている。学術的インパクトと応用価値の追求がやや乖離している点を克服すれば、この分野で世界の最先端を行く研究となることに疑いの余地はなく、特別推進研究としてなお一層推進すべき研究であると判断した。</p>